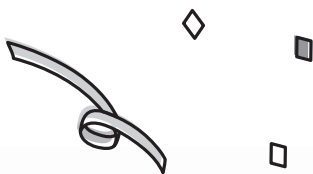


第2章

班員對抗



カップスロー チャレンジ

■準備物（×班数分）

プラスチック製のコップ
（班員数分+1個）、セロハン
テープ（1個）

■方法

- ①各班に準備物を配ります。
- ②机の上に1個のコップを上向きに、セロハンテープで固定します。
- ③班員はコップを1個ずつ持って、机を中心に机から1～1.5mくらい離れて立ちます。
- ④1人ずつ順番に、持っている紙コップを投げ、机の上に固定させたコップに重ねます。成功するまで、時間内に何巡かします。

☆成功した人の勝ちです。

■注意点など

- ・難しいチャレンジで、成功するまでに平均5～10分かかります。
- ・時間がない場合は、班の代表による班対抗の形にして、成功した代表の班の勝ちにしてもいいでしょう。
- ・机からの距離は、先生が事前に挑戦してみて調整するのがいいでしょう。
- ・最初に成功した人には大きな拍手を送りましょう。



ハイパーじゃんけん

■準備物

なし

■方法

- ①班内で2人組をつくります。
- ②「パーを5」「チョキを2」「グーを0」としてじゃんけんをし、じゃんけんに勝った人は自分と



相手の出した手の和、負けた人は自分と相手の出した手の差（マイナスの数は使わない）をできるだけ早く言います。例えば、Aさんが「パー」、Bさんが「チョキ」の場合、Aさんは $5 - 2$ で「3」、Bさんは $2 + 5$ で「7」と言います。じゃんけんの勝ち負けでなく、早く正しい数字を言った人の勝ちになります。

☆班内でペアを入れ替えながら、楽しめます。

■注意点など

- ・連続して、同じ手を出してはいけません。
- ・人数を増やすことができます。例えば、5人で同時にじゃんけんした場合、「グー、グー、グー、チョキ、チョキ」なら、「グー」の人は $2 + 0$ で「2」、そして「チョキ」の人も $2 - 0$ で「2」となります。一番先に言った人が勝ちになります。2人以上の人たちの一番を一気に決めたい場合に有効です。

対義語ゲーム

■準備物

なし

■方法

- ①班の形になります。
- ②じゃんけんで最初の人を決めます。
- ③最初の人が言葉を1つ、言います（例えば、「白」「山」「雨」「長い」「暗い」など）。
- ④2番目の人は、最初の人が言った言葉の対義語（正確にではなく、対義語に近い言葉でOK）を言います（例えば、「黒」「川（海）」「晴れ」「短い」「明るい」など）。
- ⑤2番目の人は、別の言葉を考えて3番目の人に言います。3番目の人も同様に対義語を言います。これを続けていきます。

☆言えなくなった人の負けです。

■注意点など

- ・手拍子に合わせて進めると、さらに盛り上がります。例えば、「山」（パン、パン）「川」（パン、パン）「雨」…という具合です。
- ・このゲームは、慣れるまでに時間がかかるので、練習時間をとるといいでしょう。

